

講座を  
つくりながら  
学ぶ

# 学習開発技術 入門講座

特定非営利活動法人 学習開発研究所  
<http://www.u-manabi.org/>

自立, 協働, 創造

## 講師紹介

西之園晴夫  
NPO 学習開発研究所 代表  
京都教育大学名誉教授

【担当】教育に関する  
国際的動向の紹介。

望月紫帆  
NPO 学習開発研究所 所員

【担当】机上での模擬学習  
の実施について。

東郷多津  
京都ノートルダム女子大学  
准教授

【担当】メタファを  
活用した学習設計に  
ついて。

高橋朋子  
NPO 学習開発研究所 所員

【担当】学ぶ意味と成果の  
学習評価の設計について。

## 受講者の感想

この講座で学んだことを、始業  
30分前に他のスタッフと共有す  
る勉強会をひらいています。

(民間教育機関からの参加者)

気が付いていなかった自分の課  
題を再認識させられ、講師から  
の何気ない  
一言にも救われた。

(大学講師の参加者)

テキストや公開情報等ご希望の方は、  
こちらのアドレス

[info@u-manabi.org](mailto:info@u-manabi.org)

に、件名「入門講座情報希望」として  
①お名前②メールアドレスを明記の上  
お送りください。

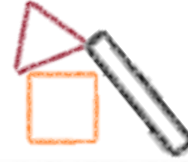
◆QRコードもご利用いただけます。



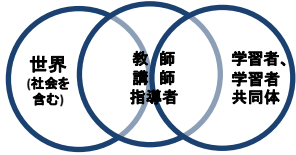
大学院ゼミや教職大学院でもそのまま使える(15コマ相当)

# 「学習開発技術入門講座」のねらい

## ◆系統立てて設計する ◆講師依存型脱却 ◆学ぶ場(文化)を継続的につくる



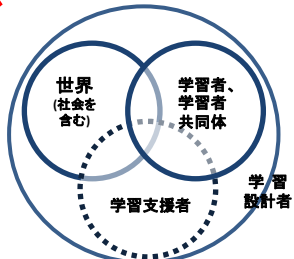
Q: 以下の4つの図は、学習者(あるいは学習者共同体)・世界・教師(講師、指導者)・学習設計者・学習支援者の関係性を表したものです。現在あなたが実施している研修や授業において、4つの型に示す場面が、どの程度の割合で占められていますか？



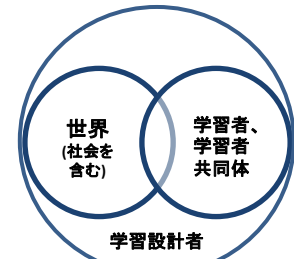
I型) 世界と学習者を仲介する  
【                   】%



II型) 学習者と共に学ぶ  
【                   】%



III型) 学習者の学びの設計者と支援者  
【                   】%



IV型) 自立した学習と学習設計者  
【                   】%

枠内のタイプの割合を高めた方が講座の対象となります

1

### 自分自身をほぐしてもらう

...自分や相手が学ぶ動機は？  
相手の質問から自分の「何をなぜ学ぶのか」を確認しながら、全体的なテーマを設定します。

2

### 体験する

...学びを設計するために「教える」を封じ込める体験をします。

0

自分が関わる研修・授業を開発(改良)しながら学びたい...“学習設計者”としての自分を高めたい！  
が出発点です。できれば最低2名～の仲間を見つけましょう。(仲間がいることで理解が深まり、実現可能性が高まります！)

6

再デザインした授業・研修の結果報告  
...共に学んだ仲間と継続的に学び続ける「学習者共同体」を創りだします。

5

### 実践に向けた発表

...テーマの見直しをして、講座の成果を発表します。達成したい基準を仲間に発表して、実践したときの結果のフィードバックを意義あるものにします。

4

### 再デザイン(設計)

...MACETOモデルで学習事象を要因に分けたことで、自分の課題や学習環境に合うように、授業や研修を再デザインできます。

3

### オリジナル開発ツール(MACETOモデル)に記録・体験をおとし込む

...MACETOモデルを活用することで、研修や授業を要因に分解してデザインすることができます。  
※MACETOモデルとは？...学習開発研究所HP「MACETOモデルについて」バナーからご覧ください。

## 2013年秋に テキストをインターネット上で公開予定

- ・勉強会にご自由にお使いください。
- ・身近なグループで研修や授業づくりの勉強会を開催したい方はご相談ください。

<テキスト記載のキーワード> (一部紹介)  
マイクロラーニング(模擬学習)、カードシミュレート、定性分析、開発イメージの変革、開発モデル

テキストや公開情報等ご希望の方はこちらのアドレスに

[info@u-manabi.org](mailto:info@u-manabi.org)

件名「入門講座情報希望」として①お名前②メールアドレスを明記の上お送りください。

◆QRコードもご利用いただけます。

